

令和6年度全建賞 推 薦 調 書
インフラ整備の事業又は施策の部(インフラの部)

ふ り が な	としけいかくどうろ あゆかわていしゃじょうせん せいびじぎょう
1. 事業(施策)の名称	都市計画道路 鮎川停車場線 整備事業
2. 事業(施策)実施期間(和暦)	平成14年度 ～ 令和6年度
3. 事業費(工事費)	7,260 百万円
4. キーワード	津波避難路、緊急輸送道路、立体交差、渋滞緩和
5. 事業概要	
東日本大震災時の津波により、道路網が寸断する被害を受けたことから、沿岸部から内陸部への避難路の確保及び緊急輸送道路となる鮎川停車場線を整備。 【路線名】都市計画道路 鮎川停車場線（県道名：主要地方道 日立常陸太田線） 【事業区間】日立市鮎川町～国分町 【事業延長】L＝850m 【計画幅員】25m/13m(4車線)	

6. アピールする事業又は施策の「手段」と「秀でた成果」		
ハード or ソフトの分類 :該当する方に○印	① ハード面 に秀でた事業	② ソフト面 に秀でた取組
アピールする 1)「手段」	(b)HEP & JES 工法の採用 () () ()	() () () ()
アピールする 2)「秀でた成果」	(a)津波避難路、緊急輸送道路の機能強化、新たな交通ネットワークの形成 (c)アンダーパス部排水の自然流下方式採用によるライフサイクルコストの縮減	() () () ()

7. 特にアピールしたい点
●JR 常磐線交差部のアンダーパスは、横断構造物の断面が大きく延長が長いので、鉄道への影響を最小限に抑えるHEP & JES工法を採用し、工事を実施した。 ●アンダーパス構造は適切に雨水が排水できないと内部が冠水してしまうため、道路本線の排水路の管底高よりも流出先の河床高が低く二級河川桜川まで自然流下方式で排水路を整備することによりコスト縮減等を図った。 ●事業完了に伴い、津波避難路の確保や災害時における緊急輸送道路の機能強化、長年の課題である日立市内の著しい渋滞の緩和、さらに、国道6号日立バイパスとの接続による新たな交通ネットワークの形成に大きく寄与している。

8. 事業を代表する写真及びキャプション



JR 常磐線アンダーパス HEP&JES 工法



国道 245 号側からみた(都)鮎川停車場線

9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元(位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P I の方法 等)〕

●都市計画道路鮎川停車場線は、アンダーパスにより JR 常磐線と立体交差し、日立市の南北軸である国道6号と国道 245 号を東西に結ぶ、延長 850mの主要幹線道路である。

●本路線は、昭和 59 年に都市計画決定後、平成 14 年度に事業に着手し、平成 26 年度から令和3年度で JR 常磐線の立体交差部について整備を完了した。

●その後取付部の施工を行い、昨年度、国道6号から国道 245 号までの全区間 850mで暫定供用を開始した。

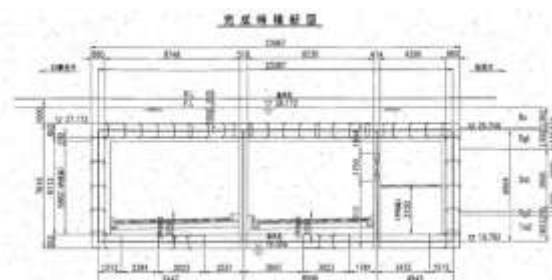
【手段】①ハード面

(b) HEP&JES 工法の採用

●上空に高圧線が架かっているため、線路の下を通るアンダーパス構造による立体交差とした。アンダーパスの施工は、横断構造物の断面が大きく延長が長いことから、鉄道への影響を最小限に抑制するよう HEP&JES 工法を採用するとともに、軌道の監視を行うことにより、鉄道の運行に支障が無いように施工を行った。



位置図



9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元(位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P Iの方法 等)〕

【秀でた成果】①ハード面

(a) 津波避難路、緊急輸送道路の機能強化、新たな交通ネットワークの形成

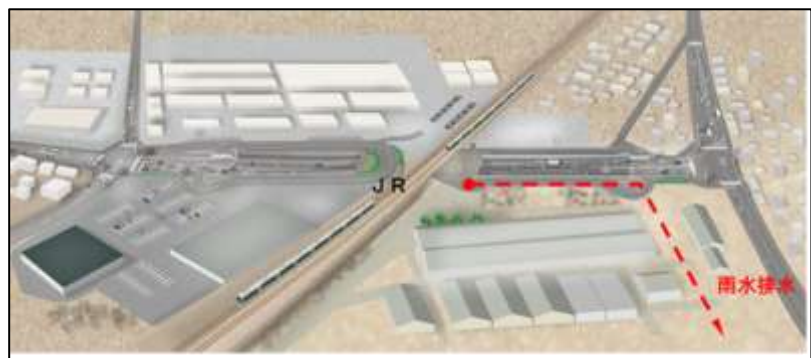
●昨年度、全区間の 850m で暫定供用を開始し、今年度、残る鮎川町地内の4車線化を完了することにより、津波到達時に浸水が想定される国道 245 号から国道6号へ迂回することができることとなった。また、長年の課題である日立市内の著しい渋滞の緩和、災害時における緊急輸送道路の機能強化、さらに、国道6号日立バイパスとの接続による新たな交通ネットワークの形成に大きく寄与する。

(c) アンダーパス部排水の自然流下方式採用によるライフサイクルコストの縮減

●アンダーパス構造は、適切に雨水が排水できないと内部が冠水してしまうため、道路本線の排水路起点管底高より流出先の河床高が低い二級河川桜川まで自然流下方式で排水路を整備した。
自然流下方式を採用したため、排水ポンプ等を用いた圧送流下方式と比べ整備に係るコストにポンプなどの維持管理費や点検に係るコストを加えたライフサイクルコストの低減(約 60,000 千円)を図ることができた。排水は、新たに用地を取得することなく、全て官地(鉄道跡地、道路敷地)に整備したため、施工環境に優れていた。



周辺位置関係図



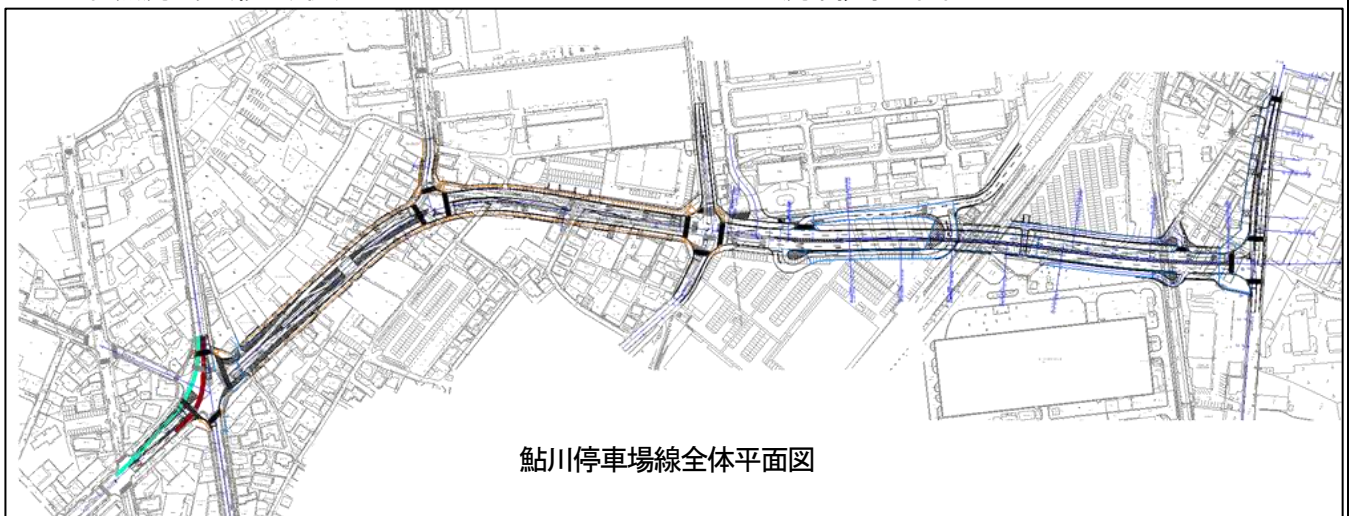
雨水排水状況



自然流下先(桜川)状況



流末排水平面図



鮎川停車場線全体平面図